

深谷市国民健康保険の 事業状況について



深谷市保険年金課

目 次

I 深谷市国民健康保険事業の現状

1. 被保険者の状況	1
被保険者数及び年齢構成の推移	1
2. 世帯の状況	1 - 2
1 世帯当たりの被保険者数（令和6年度）	1
所得階層別加入世帯数（令和6年度）	2
3. 被保険者一人当たりの医療費	2
医療費総額及び一人当たりの医療費の推移	2
4. 深谷市国民健康保険財政の状況	3

II 令和6年度深谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算見込み

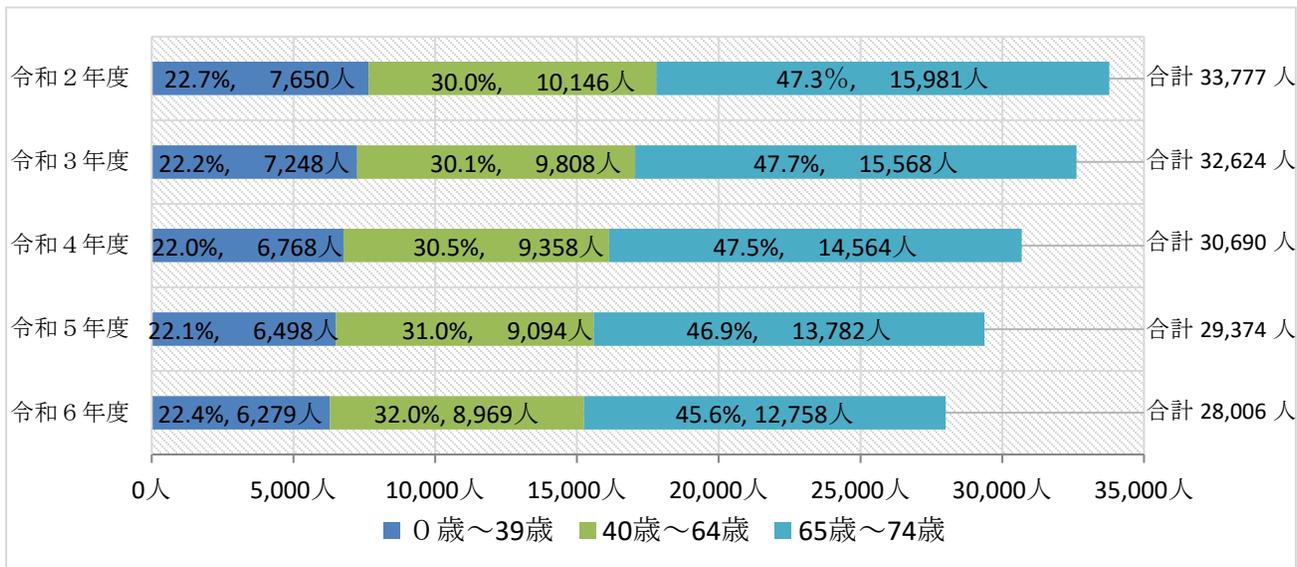
1. 令和6年度 決算款別内訳（歳入）	4 - 5
2. 令和6年度 決算款別内訳（歳出）	6 - 7

I 深谷市国民健康保険事業の現状

1. 被保険者の状況

被保険者数及び年齢構成の推移

※各年度、年度末時点



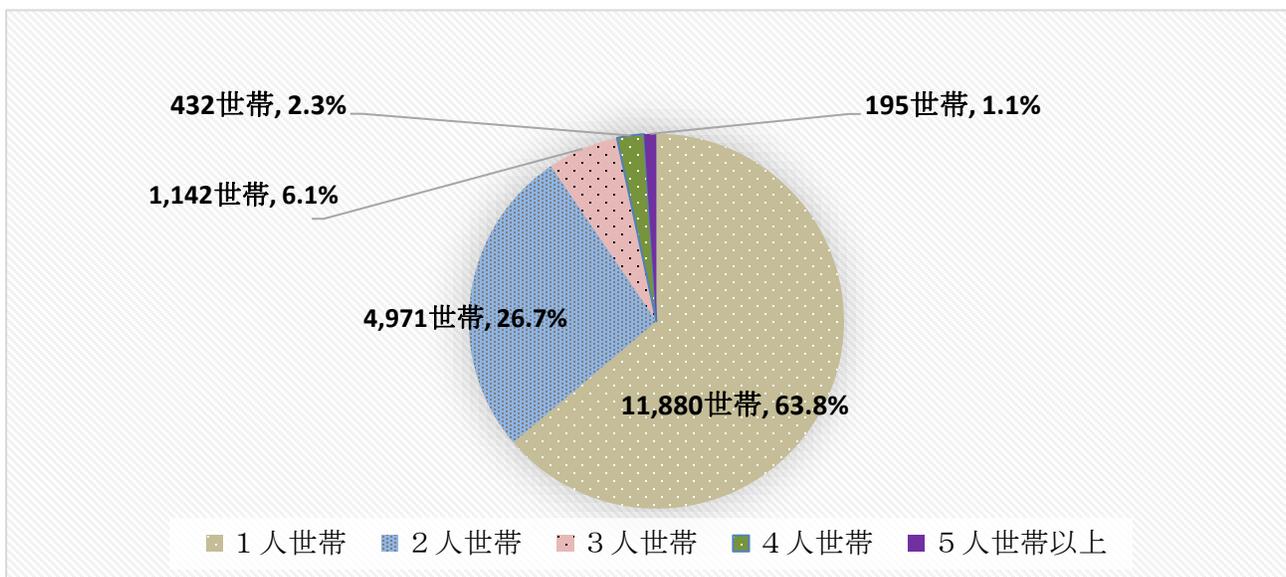
出典：国民健康保険事業状況報告書（事業年報）

- 被保険者は、年々減少しており、被保険者の後期高齢者医療制度への移行が主な減少要因となっている。
- 被保険者の年齢構成は、65歳以上が約5割を占めている。

2. 世帯の状況

1世帯当たりの被保険者数(令和6年度)

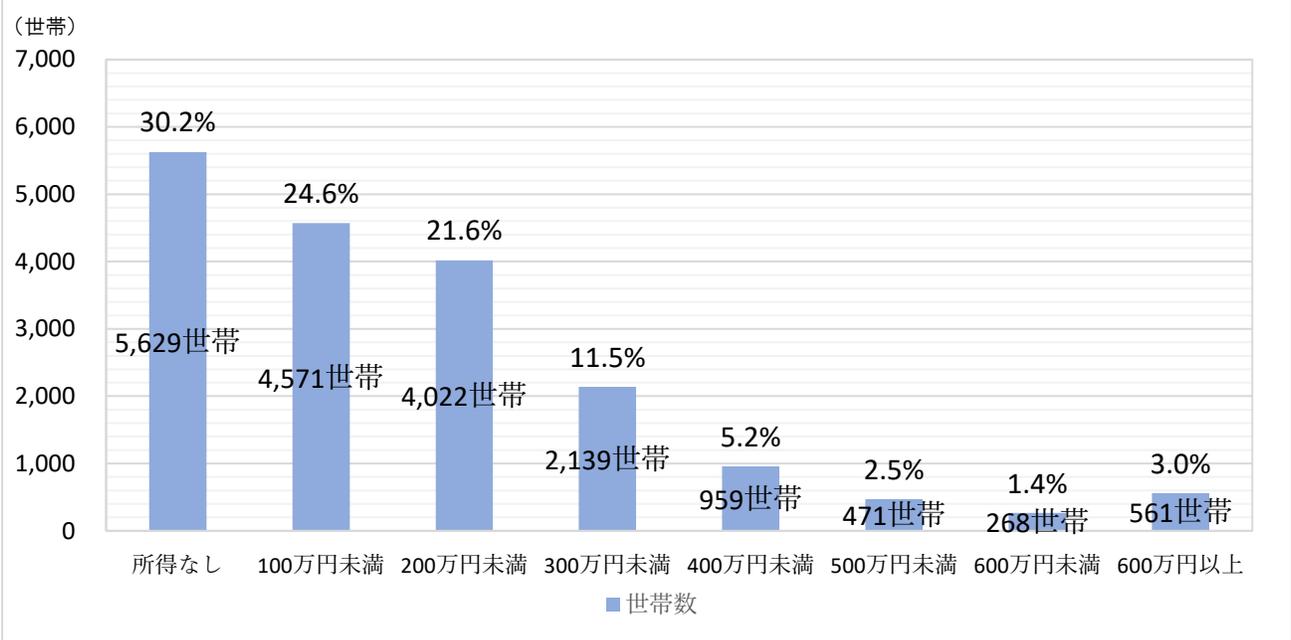
※令和6年度末時点



- 1世帯当たりの被保険者数は、1人世帯が最も多く、次いで多い2人世帯と合わせると約9割を占めている。

所得階層別加入世帯数(令和6年度)

※令和6年度末時点

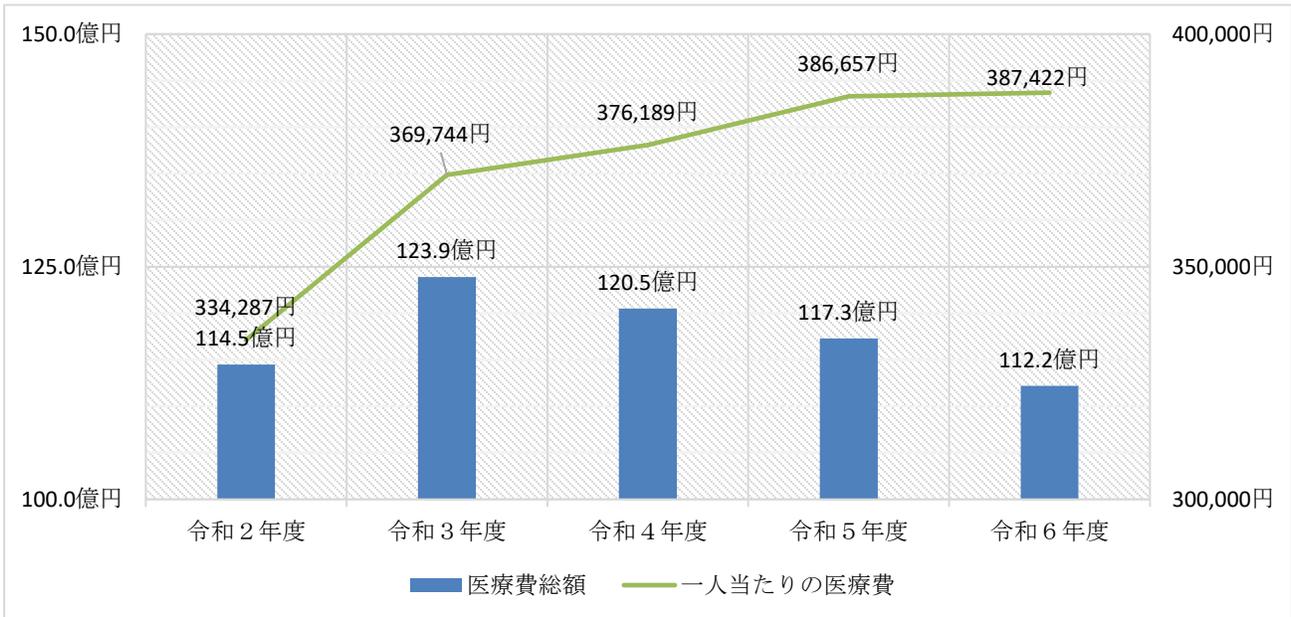


➤加入世帯の所得階層区分は、「所得なし」が最も多く、「100万円未満」「200万円未満」を合わせると約8割を占めている。

3. 被保険者一人当たりの医療費

医療費総額及び一人当たりの医療費の推移

※各年度、年度末時点



出典：国民健康保険事業状況報告書（事業年報）

➤被保険者数の減少に伴い、医療費総額は減少傾向であるが、一人当たりの医療費は年々増加している。

4. 深谷市国民健康保険財政の状況

(単位：千円)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (見込み)	
		前年度比		前年度比		前年度比
収入額	15,115,255	▲3.3	14,662,950	▲3.0	14,251,593	▲2.8
支出額	14,660,900	▲1.3	14,308,999	▲2.4	13,823,939	▲3.4
形式収支	454,355	▲41.4	353,951	▲22.1	427,654	20.8
実質的収支*	▲421,752	60.7	▲469,353	11.3	▲304,273	▲35.0

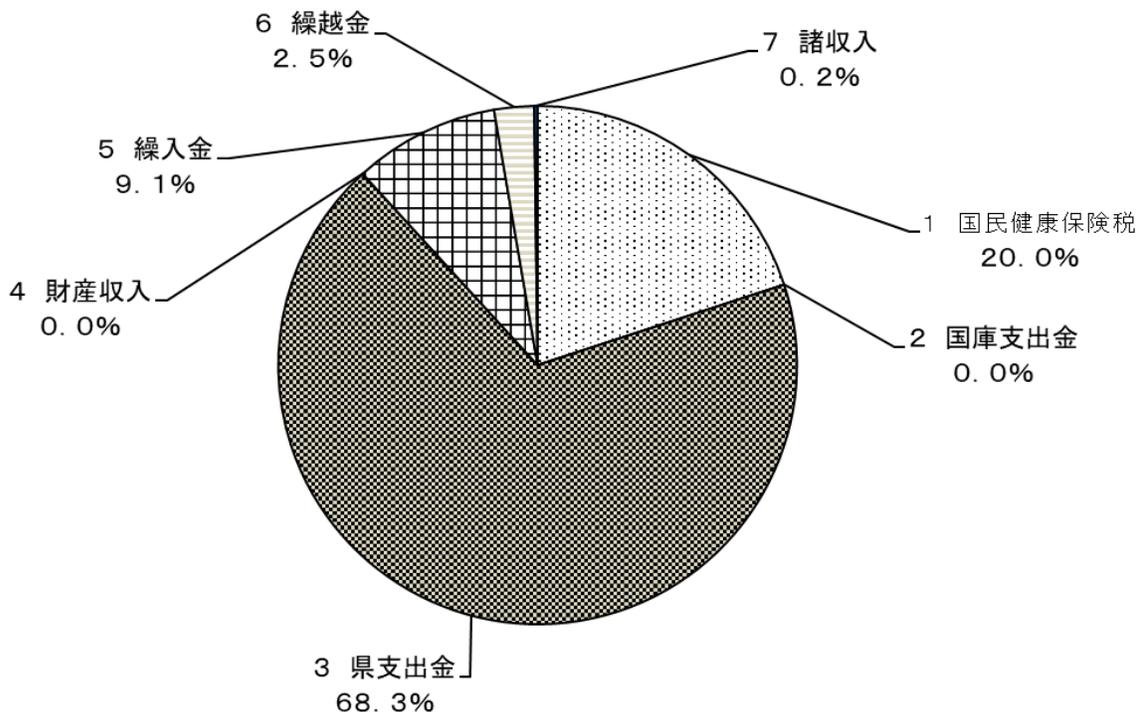
出典：国民健康保険事業状況報告書（事業年報）

*実質的収支

=形式収支-(法定外一般会計繰入金+基金等繰入金+前年度繰越金)+基金等

II 令和6年度深谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算見込み

令和6年度 決算款別内訳 歳入 14,251,593,493円



歳入

(単位 : 円 、 %)

款	令和5年度		令和6年度		前年対比
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 国民健康保険税	2,776,577,674	18.9	2,845,159,247	20.0	2.5
2 国庫支出金	527,000	0.0	5,680,000	0.0	977.8
3 県支出金	10,164,709,554	69.3	9,731,835,643	68.3	▲ 4.3
4 財産収入	40,361	0.0	47,100	0.0	16.7
5 繰入金	1,239,891,000	8.5	1,292,232,000	9.1	4.2
6 繰越金	454,355,429	3.1	353,950,998	2.5	▲ 22.1
7 諸収入	26,848,651	0.2	22,688,505	0.2	▲ 15.5
8 市債	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	14,662,949,669	100.0	14,251,593,493	100.0	▲ 2.8

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

1. 歳入

歳入総額は142億5,159万3,493円、前年度比4億1,135万6,176円の減、比率にして2.8%の減となりました。

・主なもの

(1) 国民健康保険税

国民健康保険税は、被保険者の医療費等を賄うために財政運営の主体である県へ支払う事業費納付金に充てる税金です。

国民健康保険税率の引き上げに伴い、前年度と比較して約6,858万円の増、比率にして2.5%の増となりました。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は、国から市町村へ直接交付される交付金です。

マイナ保険証に係るシステム改修補助金が交付されたことにより、前年度と比較して約515万円の増となりました。

(3) 県支出金

保険給付費（医療費）や市町村ごとの事情・取り組みに応じて県から交付される交付金です。

被保険者の減少に伴い医療費総額が減少したことにより、保険給付費（医療費）に係る交付金が減少し、前年度と比較して約4億3,287万円の減、比率にして4.3%の減となりました。

(4) 繰入金

繰入金は、一定所得以下のかたに適用される国民健康保険税の軽減に対する補てんや、国民健康保険の財政安定化のために、一般会計から繰り入れるものです。

前年度と比較して約5,234万円の増、比率にして4.2%の増となりました。

増加の要因は、国民健康保険税法定軽減額の増加に伴い、保険基盤安定繰入金が増加したことが主な増加要因となります。

(5) 繰越金

繰越金は、前年度の決算剰余金です。

前年度と比較して約1億40万円の減、比率にして22.1%の減となりました。

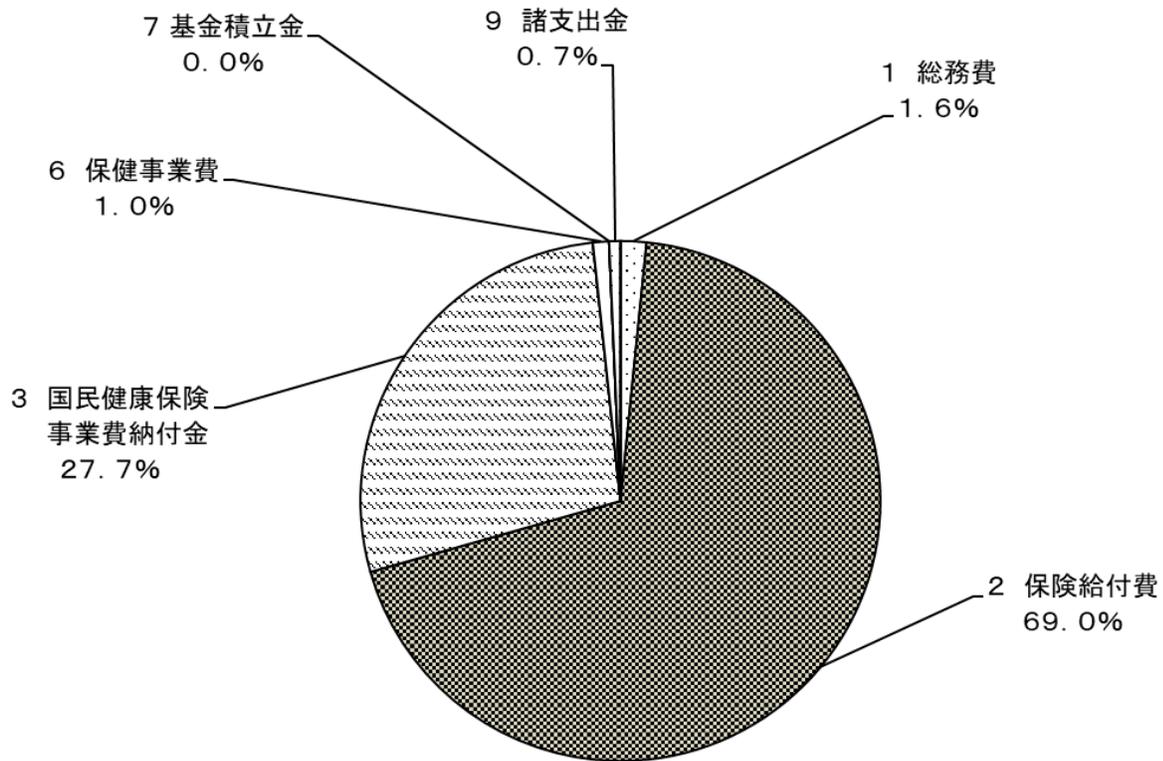
(6) 諸収入

諸収入は、国民健康保険税の延滞金、第三者行為求償金や不当利得の返納金などです。

これらの調定額、収入額がともに減少したことにより、前年度と比較して約416万円の減、比率にして15.5%の減となりました。

令和6年度 決算款別内訳

歳出 13,823,939,432 円



歳出

(単位 : 円 、 %)

款	令和5年度		令和6年度		前年対比
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 総務費	209,071,423	1.5	215,649,272	1.6	3.1
2 保険給付費	9,986,161,982	69.8	9,539,873,078	69.0	▲ 4.5
3 国民健康保険事業費納付金	3,884,180,316	27.1	3,824,269,036	27.7	▲ 1.5
4 共同事業拠出金	351	0.0	0	0.0	▲ 100.0
5 財政安定化基金拠出金	0	0.0	0	0.0	0.0
6 保健事業費	146,455,125	1.0	143,604,012	1.0	▲ 1.9
7 基金積立金	40,361	0.0	47,100	0.0	16.7
8 公債費	0	0.0	0	0.0	0.0
9 諸支出金	83,089,113	0.6	100,496,934	0.7	21.0
10 予備費	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	14,308,998,671	100.0	13,823,939,432	100.0	▲ 3.4

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

2. 歳出

歳出総額は138億2,393万9,432円、前年度比4億8,505万9,239円の減、比率にして3.4%の減となりました。

・主なもの

(1) 総務費

総務費は、国民健康保険事業を運営するための事務的経費です。

マイナ保険証に係るシステム改修費が増加したことにより、前年度と比較して約658万円の増、比率にして3.1%の増となりました。

(2) 保険給付費

保険給付費は、医療費の保険者（市）負担分や、出産育児一時金、葬祭費、傷病手当金にかかる経費です。

被保険者の減少に伴う医療費総額が減少したことにより、前年度と比較して約4億4,629万円の減、比率にして4.5%の減となりました。

(3) 国民健康保険事業費納付金

国民健康保険事業費納付金は、被保険者の医療費等に充てるため、財政運営の主体である県へ支払う深谷市負担分です。

深谷市負担分の納付金が減少したことにより、前年度と比較して約5,991万円の減、比率にして1.5%の減となりました。

(4) 保健事業費

保健事業費は、特定健康診査、特定保健指導、人間ドッグ助成など、被保険者の健康保持増進を目的とした事業の経費です。

保健事業を効果的に実施するためのデータヘルス計画策定が終了したことにより、前年度と比較して約285万円の減、比率にして1.9%の減となりました。

(5) 諸支出金

諸支出金は、国民健康保険税の還付金や国県交付金の返還金等です。

令和6年度は、県交付金の返還額が増加したことにより、前年度と比較して約1,741万円の増、比率にして21.0%の増となりました。